

令和8年度  
(2026年度)

# 「運営に関する計画」

## 学校目標

「学びに向き合い、心豊かにたくましく生きる子を育てる」



大阪市立出来島小学校  
令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

## 【安全・安心な教育の推進】

令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目では、肯定的に答える児童の割合が74%となり、目標値を大きく下回った。しかし、校内児童アンケートにおける具体的な学校の決まりである「ろうかを歩いている」や「チャイムの合図を守っている」では87%であった。エビデンスベースによる学校改革における『出来るんジャースタンプカード』の活用により、徐々に児童の規範意識の向上がみられるようになってきている。

令和7年度末の児童アンケートにおける「自分には良いところがある」の項目では、肯定的に答える児童の割合が78%となり、中期目標の81%より下回った。しかし、各学年が児童の実態に応じた社会体験や体験活動に積極的に取り組むことで、校内比較で昨年度より7ポイントの向上が図れた。また小学校学力経年調査における「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の項目では、肯定的に答える児童の割合が82%となり、昨年度の75.6%より上回っているが、不登校については、令和6年度は11名、令和7年度は10名と大きな改善は見られない。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和7年度小学校学力経年調査における国語科・算数科の対大阪市との標準化得点(市平均正答率を100とした場合の換算値)については以下の通りで、まだまだ差はあるものの、少しずつ学力の向上が図れている。

【R07大阪市小学校学力経年調査における対大阪市との標準化得点】

	3年生	4年生	5年生		6年生		
	2年生時	3年生時	3年生時	4年生時	3年生時	4年生時	5年生時
国語		93.6	90.4	94.2	99.0	97.2	96.4
算数		90.9	90.3	92.7	101.9	96.1	94.9

しかし、国語科の基礎的学力の1つである漢字の書き取りを中心とした「言語の特徴や使い方に関する事項」および、算数科の基礎的学力の1つである「数と計算」については以下の通りで、まだまだ定着が図れていない(上段:本校、下段:大阪市)。

【R07大阪市小学校学力経年調査における領域別正答率】

		3年生	4年生	5年生	6年生
		2年生時	3年生	4年生	5年生
国語	言葉の特徴や使い方 (漢字の読み書き等)		66.7	67.7	73.4
			77	76.5	76.0
算数	数と計算		50.6	52.6	52.9
			68.2	68.0	65.5

また、令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査においては、総合得点を含む複数の種目で、男女とも大阪市平均以上・全国平均以上となった。ただし学校全体では体力・運動能力の二極化が目立っている。

(5年生対象)「R4～R7全国体力・運動能力調査実技集計平均値」 ※R8は、R07に実施した校内種別テストの旧4年生の結果

男子		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトル	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	総合得点
R4	出来島小	△ 17.19	△ 22.19	△ 38.00	40.00	43.13	▼ 10.33	▼ 144.94	▼ 18.27	51.93
	大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
	全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
R5	出来島小	△ 19.15	▼ 17.11	△ 34.21	39.45	△ 48.79	▼ 9.59	△ 157.55	△ 23.37	53.69
	大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
	全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
R6	出来島小	△ 18.25	△ 19.45	▼ 32.50	▼ 38.55	△ 53.92	△ 9.29	▼ 134.55	▼ 19.08	52.82
	大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
	全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
R7	出来島小	△ 19.81	△ 20.06	▼ 31.94	△ 46.31	△ 45.60	▼ 9.69	△ 151.56	△ 22.73	54.15
	大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
	全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R8	※出来島小	12.27	13.86	26.40	31.62	21.14	10.58	137.1	16.14	
女子		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトル	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	総合得点
R4	出来島小	△ 18.75	▼ 17.07	△ 42.75	△ 42.38	△ 37.19	△ 9.56	△ 147.94	13.06	56.33
	大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
	全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
R5	出来島小	△ 17.85	▼ 17.70	△ 39.00	37.18	▼ 32.80	▼ 9.85	△ 154.70	▼ 12.36	55.61
	大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
	全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
R6	出来島小	△ 17.63	▼ 17.67	△ 38.84	37.50	▼ 33.61	▼ 10.22	▼ 132.78	▼ 12.47	55.20
	大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
	全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
R7	出来島小	△ 17.47	▼ 16.60	▼ 36.57	△ 44.87	△ 37.13	▼ 9.98	△ 149.33	▼ 12.27	54.15
	大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.42	12.67	52.58
	全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
R8	※出来島小	13.53	15.11	30.79	33.53	18.06	10.14	134.3	15.58	

(△：大阪市平均・全国平均とも上回っている、▼：大阪市平均・全国平均とも下回っている)

### 【学びを支える教育環境の充実】

令和7年度末において、授業日における児童の8割以上が学習者用端末（以下、パソコン）を活用した日数が年間授業日の90%を超え、目標値である80%を大きく上回った。しかし、令和7年度の大阪市学力経年調査における以下の項目では、肯定的な回答をした児童の割合は次の通りである。

「パソコンを活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」…67.3%

「パソコンを活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」…72.6%

「パソコンを活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」…67.9%

「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか」…77.3%

第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（「1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない」及び「1年間の時間外勤務時間が360時間を超えない」）を満たす教員の割合については94.7%だったため、「働き方改革」も効率よく進んでいる。

令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目では、肯定的に答える児童の割合が51.9%で、前年度の60.0%を下回る結果となった。

令和7年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目では、「ほぼ毎日」と答える児童の割合が50.0%だったので目標値を下回ったが、大阪市平均（38.8%）や全国平均（46.7%）を上回ることはできた。

令和7年度末の保護者アンケートの「学校は、手紙やホームページを通して情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合が85.8%だったので目標値を下回ったものの、本校教育に対する他のアンケートについても高評価が多く、保護者の理解が得られている。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。〔令和7年度 80.7%〕
- ② 大阪市学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 82%以上にする。〔令和7年度 77.9%〕

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。  
〔令和7年度 3年生 0.936、4年生 0.942、5年生 0.964〕
- ② 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国平均を同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。  
〔令和7年度 3年生 0.909、4年生 0.927、5年生 0.949〕
- ③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。  
〔令和7年度 86.4%〕

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。〔令和7年度 67.9%〕
- ② 学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。〔令和7年度 0人〕
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。〔令和7年度 61.1%〕

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。
- ② 大阪市学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 79%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国平均を同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ① 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 69%以上にする。
- ② 学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 62%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立出来島小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b> ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。 ② 大阪市学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 79%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① <b>【基本的な方向 1 安心・安全な教育環境の実現】</b> ○ 出来るんジャースタンプカードに取り組み、学級や児童が学校全体で盛り上げる工夫をしたり、ポジティブフィードバックを取り入れたりして、達成感を感じられるようにする。 ○ すべての児童にとって居心地の良い環境づくりとなるよう、日本語指導の系統的な実施とともに、教科担任制の導入、SSR、多文化共生支援担当司書、SC・SSWなどの効果的な活用を図っていく。	
指標 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。	
取組内容② <b>【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</b> ○ 教科・領域横断的に多文化共生に取り組む。 ○ 「多文化共生週間」を設定し、人権教育とリンクさせながらいろいろな国の遊びなどに触れる機会を設定する。	
指標 校内児童アンケートにおける「いろいろな国の文化や言葉の違いを知っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <p>② 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国平均を同一集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 漢字テストを年間 10 回以上行う。</p>	
<p>指標</p> <p>1～3年生は、学年末に実施する既習した漢字のテストにおける平均正答率を 50 点以上にする。4～6年生は、小学校学力経年調査の国語の「言葉の特徴や使い方」における正答率を前年度より 1%以上向上させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 週に 1 回以上、算数の時間に 100 マス計算に取り組む。（内容は学年に応じて）</p>	
<p>指標</p> <p>1～3年生は、学年末に実施する算数のテストにおける計算問題における平均正答率を 50%以上にする。4～6年生は、小学校学力経年調査の算数の「数と計算」における正答率を前年度より 1%以上向上させる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○ 年間 25 回以上、体育の学習において走を取り入れた活動を組み込む。</p>	
<p>指標</p> <p>全学年において、後期に実施する 50m 走の平均が新体力テストでの平均より 0.1 秒以上向上させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。</p> <p>② 学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>○ タイピングアプリを学校生活や家庭学習に浸透させ、活用できるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>タイピングアプリ（らっこたん）にて、当該学年相当のタイピング技能をクリアする児童の割合を35%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○ 必要な行事や会議・研修等の時間を確保した上で、放課後の時間にゆとりをもたせる。</p>	
<p>指標</p> <p>1人の教職員が1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月を、1年間で6ヶ月までとする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の推進】</p> <p>○ 朝の読書タイムを年間通して継続的に実施する。</p> <p>○ 朝の読書タイムや図書の時間を充実させ、各教科の言語活動に繋げていく。</p>	
<p>指標</p> <p>児童が1年間に読む本（朝の読書タイムや図書の時間を含む）を20冊以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

